

あだたら

一月二十九日(月)

安達太良山岳遭難対策委員会

冬山遭難救助訓練

報告・□□□□

第424号
発行所 山形県あだたら市
編集 山形県あだたら市

●編集部連絡先
二本松市 本町1-15-15
0243(22) 4245
Fax 可 渡辺 正



14時25分、参加者勢揃い

今年にはコロナ過から四年ぶりの救助訓練となり市役所、消防、警察、警察航空隊、当会と関係各所がそろった冬山救助訓練となった。ただ、今年には異常な

が積雪が少なく平年より六十センチ少ない。多い年と比べて一メートル以上も少なく夏道がそのまま出ている箇所もある。当初予定ではリフトを利用して五葉松平付近

でのストレッチャー搬送訓練を予定していたが当日、積雪の少なさを考慮して八の字頭上での訓練場所を変更する。そこまでいけば雪もある程度あり、風が出て冬の安達太良らしさを感じられるかと思っていたがそこでも雪が少なく、これからはほとんど温暖化していくのかと危惧する。当日は天気が良くまさに登山日和訓練ではなく山頂に行きたいとみんなが話すくらいだが、くろがね小屋封鎖の影響で平日とはいえ登山者は五名のみと非常に少なかった。内容としては二班に分かれてストレッチャーでの収容、搬送を実施したが一班の収容者は消防機材を使ったがそれでも寒く足が痛いとこの事で途中で歩くようになった。実際を考えると失敗で毛布ではなく寝袋などを使って人によってはおっと保温しないといけないのが反省点だった。また、ストレッチャーの運搬方法も消防は付属バッグから八十センチ以上に入れ替えており物凄く快適に背負えた。当会のも保管は付属で使用時はザックにしたいと思うので、もし古くて使っていない大型ザックがあれば探



開会式

していききたい。予定にはなかったが収容中には県警へりも見に来たらしくうちらの周りを結構な近さで旋回して帰っていった。帰り道ではロープを使ったの制御、引き上げシステムを何種類か実践して下山。昼食後に航空隊よりヘリ収容する時の注意点など教えてもらい最後に講評とした。ちなみにドローンでの捜索も予定していたが高低差、風視界の問題でほとんど使えず期待していたのに残念、使用している機材を教えてもらったがいわゆる一般的なタイプで街中を飛ばすような機種だったのでこればかりは参加した業者さんを変えるか、機体を更新して欲しいと願った。



県警ヘリ



搬送準備中



「近道」を現場に向かう



1班が奥岳に帰着



搬送中



2班が奥岳に帰着

8:35 捜索開始 馬車道方面	9:52 八字頭到着
8:50 鳥川橋着	9:55 2班
8:58	10:00 クロコ捜索中断、下山
9:06 馬車道 近道 通過中	10:15 捜索救助訓練開始
9:24	10:22 クロコ下山
9:28	10:44 消防隊72人入山
9:47 ドロコ捜索開始	11:15 下山開始 1班
	11:26 " 2班
	11:35 2班八字頭着
	12:00 1,2班八字頭局内通過中
	12:42 鳥川橋着

行動記録、市役所生活環境課が記録

二月山行 土湯峠スノートレッキング

報告・□□□□□□□□□□

二月十二日(月)



土湯峠、電波塔(反射板)

会員四名で冬山トレッキングを実施しました。野地温泉登山口からスタートし土湯峠を通り、ピークの電波塔(反射板)まで行って旧土湯峠を経由しスタート地点に戻って来る行程です。今回の目的の一つである「コンパスを使用した読図を学ぶ」の内容の一部を報告します。参加できなかった方、興味のある方の参考になればと思います。講師は□□副会長で、事前課題として地図に記載された五つのポイントの標高、ポイント間の距離を確認することでした。(地図1)野地温泉登山口からスタートです。①から⑥へコンパスと

地図を使って進行方向を確認します。

一、コンパス(ベースプレートコンパス)の長辺を現在地①と目的地⑥をつないだ線に合わせる。

二、カプセル(リング)の矢印を磁北線と平行にする。

三、コンパスを地図から離して手に持ち、カプセルの矢印が磁北と重なるまで体をまわす。体の向いた正面が目的地⑥の方向です。

一、二、三の方法を繰り返してポイント⑤まで来ました。ここは電波塔で、今回のトレッキングのピークで



地図1



写真1

ここから旧野地峠⑥に下ります。どちらの方向に向かったら良いでしょうか?雪で登山道は確認できません。(地図1、写真1)。

電波塔からの林の中に入



写真2

線が折れ曲がっているの



地図2



地図読み実施

で、鉄塔があると思われる可能性があります。その方向に進路を設定(八十五度)し、進むことにしました。林の中を進むと、想定した通り鉄塔が現れてきました。(写真2)地図読み実施



ほぼゴールイン、旧土湯道路

広がる雪原を見ると駆け回りたくなるのは、成年生まれのせいかもしれない。と、書いてみたかったけれど残念ながら私は巳年生まれ。ご褒美の温泉を楽しみに出発。雪の生活道路をし

ばらく歩いた先に広がっていたのは、運動場でも駐車場でもなく、絵本で見た林の中の雪原。雲一つない空からキラキラと降る光を受けた雪原の美しさはえも言われぬ美しさ。と、感動に浸る間もそこそこに、自分の足跡をつけることに夢中になる巳年生まれ。

一昨年までは「山のシーズンっていつまでですかあ。」「冬も登れるからシ

ズンオフはないよ、雪山は登りやすいよ。」という会話をY氏と何度も繰り返していた私。去年雪山デビューからその楽しさはちよっとだけ体験していたものの、今回の山行はこれまでと違い、「自分が歩いたところが道にならなかった感動があった。それは、コンパスと地図で目的地に向かい、道なき道も雪の上なら歩けたからに他ならない。

最後になりましたが、堀にハマろうが、スノーシューが脱げて戻ろうが、突っかかって転がるうが、コンパスの用意がなかるうが、ストックを忘れようが最後まで温かくご指導くださったS氏とY氏に感謝!

報告 □□□□

二月四日 (日)

個人山行
水石山トレッキングとフラワーセンター

報告・□□□□



今年元日に安達太良山、五日に鹿狼山と良いスタートが出来たと思いきや、九日に妻、十日に息子、そして十二日には私と、鼻水と咳が酷く病院に行く。咳が止まらず「ハラワタ」が出るのでは無いかと思うほど。二日ほど床に。何年ぶりだか判らない。二週間ほど辛い思いをし、月末に少し良くなり、一時間位の散歩も出来る様に成る。気持ちに早春を求め水石山トレッキングを計画、立春の四日、八時出発。途中友

と合流、三春・田村・小野町より、いわき・三和町の早咲き福寿草を見、差塩より、三和インターへ。インター手前五〇六〇〇路で、右の山からイノシシが私の車の前に飛び出し、二〇三〇路位車の前を走り、クラクションを鳴らすと左の土手を登り山の中へ行った。四九号国道から水石山に行く県道は、大雨でだろう土砂崩れで片側交互通行の場所もあり、通行止になっていなくて良かった。水石山駐車場まで車を上

げ出発。雲一つ無い青空と草原と界がはつきりわかり、このまま進むと宇宙に行くのではないかと思う様な風景を楽しみ山頂へ。山頂の見晴らし台は、昨年はロープが張られ登る事が出来なかったが、今回は綺麗に修復され上がる事が出来たので上がり、湯の岳、矢大臣山、遠く白く見えた山は安達太良・吾妻山である。大滝根山・二ツ箭山、真っ青な太平洋。三六〇度のパノラマを楽しみ、広い草原の中で私達だけの昼食を楽しむ。日照でも水が洒れる事のない大きな石が有り、「水石山」の名が付いたと云われている石の上に水が溜まっているのを、石に登り確認。水は凍り付いていた。下山後関ヶ原岳参拝に参拝、フラワーセンターへ。郡山の蓬瀨公園でマンサクが開花したとの事。フラワーセンターはどうかと思っ

たが、ロウバイだけだった。熱帯植物園の中に入ると常夏の暑さ、大きなサボテンや南国の草花そして南国の花弁等、約一時間程楽しみ、午後三時フラワーセンターを出発、帰路に付く。夏井川では旅立つ前の休憩なのか、多くの白鳥が川面で休んでいる様だ。小野町・田村市・旧白沢村を通り、暗くなる前に帰松。友と別れ六時無事帰宅する。天気も良く思い出に残る早春の一日であった。

二月十三日 (火)

個人山行・安達太良、勢至平

報告・□□□□



勢至塔と□□さん

朝から晴れ上がり風も無さそう。お湯とカップラーメン、スノーシューからパンとバナナを買って求め奥岳へ。スキー場でアイゼンを付け十一時入山する。鳥川から旧道を途中より馬車道へ。途中日溜まりの土手に腰を下ろし昼食。一人の男性が下山して来る。風が強く峰ノ辻から引き返して来

たとの事。八之字頭は風が殆ど無い。今年は雪が少なく勢至平の馬車道は大きなU字溝の様だ。時々強い風が来るが気にする程では無い。勢至塔まで行き、時計も二時少し前、今日はここまでと下山する。下山は旧道を見晴岩でコーヒを。途中踏み跡から右足がはずれ、前のめりになったが無事だった。途中から馬車道へ、鳥川を過ぎ、水分補給をしていると後ろから岳の湯守と人達が下山して着る。少し一緒したが、段々離され駐車場に着いた時は、岳の人達は車で帰路に付いていた。三時半、駐車場へ下山する。

二月十四日 (水)

個人山行・信夫山

報告・□□□□



妻が足のイタミ有りと言うので運動不足と考え、信夫山へ誘う。二人では「コタツ守」の延長であると考え、Sさんに電話し一緒に貰う。福島県の護国神社前の駐車場に車を止め、今日の

奉納された大ワラジに妻の足が良くなるよう羽黒神社へお願いする。神社より車道を下る途中北限と言われているユズを見ながら、駐車場へ三時半戻る。



山岳遺産認定証

二月三日 (土)
(速報) 安達太良山が山岳遺産に認定
認定証を受領
報告・編集部

二月三日 (土)、東京、神田神保町、山溪の会社も入っている三井ビル二十三階で「二〇二三年度山岳遺産サミット」が開催され、今年度認定された「安達太良山」、「あだたら山の会」に認定証が交付された。会長が業務多忙で参加出来ず、□□□□副会長と□□□事務局長が参加した。活動報告は、□□□□副会長が行った。

受証につき、ご協力頂いた、二本松市に対し三月五日(火)市役所市長室にて、□□□市長に、受証報告とお礼を行った(詳細は来月)。

編集後記
四二四号

◆奥岳の鳥川遊歩道、今通行禁止、今年二本松市が調査する、予算を付けたという話、市長との話の席上伺った。有り難い。
◆二月二日の郡山市ユラックス熱海での「登山道の管理や法的責任に関する講演会」、当会から五名参加。
◆二月八日民報「みんなの広場」、□□□□さん投稿。
◆個人山行の記事下さい、メールアドレスと有り難いので、が、手書きも歓迎、FAXも受信できます。